

## 令和4年度 事業計画

### 1. 通常総会

令和4年(2022年)5月27日(金) アルカディア市ヶ谷(オンライン形式)において、第63回通常総会を開催する。

### 2. 理事会

理事会は原則として年6回以上開催する。

### 3. 委員会

[常設委員会]

常設委員会は以下のとおりで、委員会は必要に応じてその都度開催する。

- ・ 総務委員会
- ・ 会誌編集委員会
- ・ シンポジウム実行委員会
- ・ PC技術規準委員会
- ・ PC鋼材委員会
- ・ PCサステナビリティ委員会
- ・ PCアーカイブス委員会
- ・ PC技術講習会委員会
- ・ PC技士委員会
- ・ コンクリート構造診断士委員会
- ・ 国際委員会
- ・ PC工学会賞選考委員会
- ・ 公募研究課題選定委員会

### 4. 調査研究・資料収集事業

#### (1) 規準作成

##### 1) PC技術規準委員会

委員会を2回、幹事会を4回開催し、講習会開催方法の検討や、新たな規準作成小委員会の立ち上げなどについて検討を行う予定である。規準改訂に関して、「PC斜張橋・エクストラードロード橋設計施工規準(2009年2月)」の改訂小委員会(平成30年度～)は、オンデマンド講習会の開催を4月に予定している。また、PC橋プレキャスト工法技術規準作成小委員会(令和元年度～)は、生産性向上や建設時の環境負荷低減などに大きく貢献可能なPC橋のプレキャスト工法について、さらなる普及を推進するために規準を作成する。本規準では、設計体系や施工方法および維持管理に関する規定のほか、プレキャスト工法の

適用による具体的な効果を事例集として資料編にて紹介する。このため、委員会を2回、幹事会を5回程度開催する予定である。

## 2) P C 鋼材委員会

既設のP C 構造物に関して、P C ケーブルの腐食や損傷、破断事例などが報告されるケースが増えている。これらの事例を研究するとともに、工場加工型防食P C 鋼材の長期耐久性に関する試験結果や長期間使用された後の状況調査を行う。加えて、海外を含め適用が始まっている繊維補強ポリマー（FRP）等非鉄のP C ケーブルや2相ステンレスP C ストランド等の新材料の調査を行い、P C ケーブルの高耐久化に関して討議を行う。また、P C 鋼材に関連する国内外の基規準類の改定に関して情報収集を行い、国内外の学会・委員会等に参画する委員からの情報提供に基づき、基規準類への本委員会意見の反映を図る。

## (2) P C サステナビリティ委員会

サステナビリティ宣言に基づく本工学会の今後の活動について議論を進める予定である。広報活動および継続的な見直しを目的として、本工学会主催行事の中でアンケート調査を実施していく予定である。

## (3) P C アーカイブス委員会

本工学会Webサイト「アーカイブス」を定期的に更新するため、そのメンテナンスおよび資料収集を継続的に活動する体制を構築する。今後の企画を検討し、順次進めていくため、委員会2回、幹事会およびWGを計5回程度開催する予定である。

## (4) 公募研究

### 1) 浜松町駅旅客ホーム上家調査委員会

部材調査WGでは、実建物から採取運搬された部材のコンクリート・P C グラウト・P C 鋼材・鉄筋材料に対し劣化調査を行う。さらに、載荷試験により部材が保有する耐力を確認する。文献調査WGでは、建設計画・設計・施工・改修履歴について調査し、同建物の歴史を紐解くとともに劣化調査の資料としても活用する。調査結果は、67年間の役目を終えたP C 建築物の健全性に関する記録として、令和5年度のプレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウムにて発表する計画である。

## (5) 受託研究

### 1) 既設ポストテンション橋の再生・補修・補強検討委員会

昨年度に本委員会が発刊した「既設P C ポストテンション橋保全技術指針」について、今年度は本指針概要版の英文化を目指す予定である。この英文化作業に関する幹事会を1回開催する計画である。

## 2) P C連続Uコンポ橋の継目部に関する設計指針検討委員会

昨年度に本委員会では審議した設計指針案を取りまとめてP C技術規準委員会へ審査を依頼し、その結果を踏まえた設計指針の策定を目的として、委員会1回、幹事会1回を開催する計画としている。なお、作成した設計指針は、令和4年度中に会誌またはシンポジウム等で共有する予定としている。

## (6) 国際活動

### 1) *fib* 関連活動

- ① *fib*の総会に参加し、*fib* の公式会員組織としての投票権を行使するとともに、行事の企画、運営、調査研究活動に参画する。
- ② *fib*の理事会、Presidium に参加し、運営に参画する。
- ③ *fib*コンGRESに参加し、国際的な情報発信、情報収集を行う。
- ④ *fib* の各種委員会（Commissionならびにそれらの下のTaskGroupなど）に参加し、調査研究活動に参画するとともに、本学会員への情報提供を行う。

### 2) 国際的な情報発信

- ① P C工学会英文ホームページの更新を定期的に行う。
- ② 規準類の英語化ならびに海外への普及についての検討を行う。

### 3) 会員への国際情報の提供

- ① P C技術講習会の国際関係のテキスト執筆と講演を行う。
- ② P Cシンポジウムにおける海外からの特別講演の準備、運営を行う。

### 4) 国際交流

- ① P Cシンポジウムにおける海外からの特別講演者によるセミナーの企画・開催を行う。
- ② 海外学協会との交流、連携を推進する。

## (7) 会誌等発刊

### 1) 会誌

会誌は一般号および特定課題による特集号を、会誌編集委員会にて企画・編集を行い、計年6回発行する。第64巻4号、6号、第65巻2号は特集号とする。64巻4号は「建築特集」とする。

### 2) ナショナルレポート

2022年6月にオスロ（ノルウェー）で開催される第6回 *fib* コンGRESに向けて、日本を代表するコンクリート構造物を広く海外へ紹介するための「National Report of Japan on Structural Concrete -The 6th International *fib* Congress 2022」を日本コンクリート工学会と共同で編纂するため、ナショナルレポート編集委員会を開催する。

## 5. 講習会等事業

### (1) 技術講習会

#### [P C技術講習会]

第49回P C技術講習会は、昨年に引き続きオンライン形式（オンデマンド配信期間 6月

6日（月）～6月27日（月）で開催する。

(2) プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム

「第31回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム」は、令和4年10月20日（木）・21日（金）の2日間にわたり、「くにびきメッセ」（島根県松江市）において開催する。実行委員会および各WGは、開催の準備、運営を行う。

その後、第32回シンポジウムは「ビッグパレットふくしま（福島県産業交流館）」（福島県郡山市）において令和5年10月26日（木）・27日（金）に開催する予定であり、その企画を行う。また、令和6年に北陸地区での開催が決まっており、シンポジウム実行委員会で開催会場を選定する。

(3) 研修セミナー

1) 「PC斜張橋・エクストラード橋設計施工保全規準」の発刊に伴うセミナー

PC技術規準委員会所管のPC斜張橋・エクストラード橋設計施工規準改訂小委員会が策定した「PC斜張橋・エクストラード橋設計施工保全規準」の発刊に伴う講習会（オンデマンド動画配信）を令和4年4月4日～4月15日の期間で開催する。

2) 「既設PCポストテンション橋保全技術指針」の発刊に伴うセミナー

既設ポストテンション橋の再生・補修・補強検討委員会が策定した「既設PCポストテンション橋保全技術指針」の発刊に伴うセミナーを東京、大阪および福岡において令和4年4月から5月に開催する。また、本指針のさらなる周知や講習会への参加が困難な者への対応を目的として、令和4年7月にオンライン形式（オンデマンド配信期間 7月）で開催する予定である。

## 6. 資格認定事業

(1) プレストレストコンクリート技士資格制度

PC技士委員会、各小委員会を開催して、講習会、試験から登録、研修に至るまでの諸準備を行う。

1) プレストレストコンクリート技士試験講習会

標記講習会を令和4年9月5日（月）から9月20日（火）までの期間、オンライン形式（オンデマンド配信）にて開催する。

2) プレストレストコンクリート技士試験

標記試験を令和4年10月16日（日）に東京：芝浦工業大学（豊洲キャンパス）、大阪：Y M C A国際文化センター、福岡：天神ビルの3会場において実施する。

3) プレストレストコンクリート技士の登録

プレストレストコンクリート技士試験合格者の登録、ならびに登録有効期間（4年間）満了となる資格者の申請とレポート提出により登録更新を行う。また、登録失効者に対しては、講習会の受講によって再登録を行う。

## (2) コンクリート構造診断士資格制度

コンクリート構造診断士委員会、各小委員会を開催して、講習会、試験から登録、研修に至るまでの諸準備を行う。

### 1) コンクリート構造診断技術講習（eラーニング）

コンクリート構造診断士試験に先立ち、Web上でのeラーニング講習（任意）を行う。eラーニングでの講習期間は3月1日から7月1日である。

### 2) コンクリート構造診断士試験

標記試験を令和4年7月3日（日）に東京：芝浦工業大学（豊洲キャンパス）、大阪：YMCA国際文化センター、福岡：天神ビルの3会場において実施する。

### 3) コンクリート構造診断士の登録

コンクリート構造診断士試験合格者および資格更新者の登録を行う。今年度は、2018年度（平成30年度）登録者の資格更新研修を実施する。研修方法は、Web上でのeラーニング講習を行う。

## 7. プレストレストコンクリート工学会賞授与事業

プレストレストコンクリート工学会賞選考委員会にて、論文賞、作品賞、技術開発賞および施工技術賞の授賞候補を選考し、通常総会にて授与する。